

世田谷区立京西小学校で行われた給食調理公開・食育講演会に参加してきました。

農林水産省 第2回 産地連携ごはん給食推進協議会 平成 25 年度 日本の食を広げるプロジェクト事業 消費拡大全国展開事業モデル校に選ばれた世田谷区立京西小学校で給食調理公開・食育講演会が開催されました。給食メニュー考案、講演は笠原 将弘さんでした。

世田谷区立京西小学校 栄養士の矢後先生からのお声掛けで、植村はこの会議メンバーに加えて頂きました。昨年、京西小学校で社会科の出前授業を担当させていただきました。この授業を手伝ってくれた、東京農業大学国際バイオビジネス学科 稲泉教授の研究室生 農業戦隊アグレンジャー 2年生指田くん、アグレンジャー初参加4年生橘さん。3名でこのイベントに参加してきました。

- ・日時：12月16日（木）11：30～14：30
- ・場所：世田谷区立京西小学校
- ・参加者：NPO農業情報総合研究所 植村春香、東京農業大学4年@橘さん、2年@指田くん。

農業戦隊アグレンジャーの任務は以下の通り。

- 1 こどもたちと一緒に楽しく給食を食べること。
2. 子どもたちの食べた方をじっくり観察すること。
(一皿ずつたべていないか？ごはんだけを食べていないか？)
3. 余裕があれば出前授業の感想などを聞いてみる。

小学校を卒業してから、8年、10年ぶりに食べる給食。テンション高くなるアグレンジャー達。小学校に到着するまで母校の給食話で盛り上がっていました。

小学校に到着。給食サンプルが置かれている場所には、すでに笠原 将弘さんが考案したオリジナル給食メニューが貼り出してありました。右側の白い紙は原材料の産地が書かれています。



3人で調理室を見学。指田くんは、小学校に調理室がなかったのが調理の様子を見るのは初めての体験。大きな鍋で作っているのに驚いていました。控え室に移動すると、出来上がった給食が運ばれ栄養士の先生たちが手際よく給食を試食される方々の盛り付けをはじめました。

この日、試食に参加された生産者さんは2名。卵を提供されている、世田谷区千歳烏山にある吉実園 吉岡さん。米を提供されている埼玉県行田市の新井農産の新井さん。

吉岡さんは東京農業大学の卒業生。造園業が本業ですが鶏糞の堆肥作りのため、鶏を放し飼いにされています。ポリスブラウン、烏骨鶏、アローカナ。そのほかにも、いくつかの種類の鶏が放し飼いにされています。新井さんも東京農業大学の卒業生。東京農業大学応用生物科学部 教授後藤先生の生ごみ肥料みどりくんの研究に協力されています。



アローカナのたまごの殻を見せてもらい吉岡さんの説明を聞きメモをとるアグレンジャー。殻は、ほんのり淡い青色をしています。通常のとまごより栄養価が高いそうです。



私たちは、子どもたちと一緒に教室で給食を頂きました。吉岡さんと橘さんは3年2組。植村と指田くんは3年1組へ移動。3年生の教室に近づくと、指田くんを見つけた児童たちが、「アグレンジャーだ!」「あつ、さっしーだ!」「ふなっしーだ?」と集まってきました。

指田くんがどこに座るのか。じゃんけんで決めます。みんな気合が入ります。席が決まり給食メニューの説明のあと、みんなでおいしく給食を頂きました。イチゴが甘くて、おいしいと大人気でした。



給食のメニューは、鮭の竜田揚げ 大根・小松菜のあんかけ、ブロッコリーと内藤とうがらしゴマあえ、白菜のかきたま汁、イチゴの黒蜜ゼリーかけ。なんとも贅沢な給食でした。

給食に使用された世田谷産の食材は7種類。大根、ブロッコリー、カリフラワー、城南小松菜、白菜、たまご、イチゴ。調味料として世田谷で栽培されている、内藤とうがらしも使用されました。午後からは、笠原さんの講演会、だしの取り方の実演が行われました。



今では、当たり前のように地域で取り組まれている地産地消の給食ですが、ほんの7～8年ほど前はとても大変だったと知りアグレンジャーの二人はとても驚いた様子でした。

京西小学校 栄養士の矢後先生が千歳台小学校に勤務されていたとき、地域に根ざした食育コンクール2006「特別賞 審査委員会特別奨励賞」受賞。給食に地元の野菜を取り入れる。当時は画期的な取り組みでした。

今まで、区内の小学校の食育を取材してわかったことは、学校、地域、行政、JA、生産者、商店街のお店の方々。野菜が学校に届くまでに、実に多くの方々が関わっているということです。他にも都会ならではの問題として、限られた生産者、農地面積での栽培による生産量、価格。運搬といったコストの問題もありました。

今回のイベントを通じ、地産地消の給食がいかに地域の農業、人が関わっているか。その現場を大学生に体験してもらいたいと考えていました。このイベント参加を通じて都会の子どもたちの食をとりまく環境、食教育について考えるきっかけになれば嬉しいです。そして、これからも農業戦隊アグレンジャーとして、子どもたちに農業、食の大切さを伝えていって欲しいと思っています。

このイベントに参加した感想、給食に関して ～意見交換～

■農業戦隊アグレンジャー4年生 橘さん（兵庫県出身）

- ・10年ぶりの給食
- ・中学校はお弁当だった。
- ・小学校 銀色の食器、途中からプラスチックに変わった。
- ・給食はマイ箸（箸箱に入れて）持参していた。
- ・ごはん、パンが交互に出ていた。
- ・パンはコッペパン。（バターパン、レーズンパン、パイパン、リンゴパン。）
- ・一番人気のコッペパン きなこパン（黄金パンと呼んでいた。）

- ・白いごはんのときはカレーが多かった。
- ・牛乳は三角パックだった。

■農業戦隊アグレンジャー2年生 指田くん（東京都出身）

- ・8年ぶりの給食
- ・小学校・中学校給食
- ・食器はプラスチック
- ・給食用の箸を使用
- ・ごはんがでていた回数は半分ぐらいだった？
- ・パンはコッペパン。
（きなこパンの人气が高かった。バターパン、レーズンパン、パインパン、リンゴパン。）
- ・わかめごはん、炊き込みごはん
- ・牛乳は三角パック
- ・学校の中に給食室がなかったので調理風景を初めて見た。

■植村

- ・各地域によって給食が違うことがわかり学生二人の会話が面白かった。
- ・給食がその後どんな影響を与えているのか多くの学生に聞いてみたいと思った。
- ・子どもたちが農業戦隊アグレンジャーを覚えてくれていて嬉しかった。
- ・アグレンジャーメンバーが少なくて子どもたちががっかりしていた。
- ・ひろとくん、うきょうくんによろしくとの伝言を預かりました。

子どもたちと給食を食べてみて。／アグレンジャー

- ・一皿ずつ食べていた子がいた。
- ・給食に出る脱脂粉乳が嫌いだと話していた。
- ・魚と野菜を別々に食べていた。
- ・スープだけ飲んでた。
- ・ごはんと一緒に食べるといった感じがなかった。
- ・牛乳が瓶だった。
- ・全員、ランチョマットを使っていた。

植村

- ・4人全員、箸の持ち方がぎこちなかった。
- ・野菜をきれいに広げて食べている男の子がいた。
- ・牛乳を飲めないアレルギーの子はお茶を飲んでた。
- ・イチゴが嫌いな女の子が一人いた。
- ・学校で野菜を育てているがうまく育たないらしい。
- ・お母さんは料理が下手だから給食の方がおいしい。（コンビニで働いているらしい。）

講演会で質疑・応答など。

- ・お母さんは7時に家を出るので一人でごはんを食べている。
- ・ママはダイエット中。朝食を食べない。
- ・自分たちは和食をおいしいと思うが、子どもたちが唐揚げを食べたがる。
- ・和食のメニュー作りに困る。

以上